

自然体験活動指導者養成研修 (NEAL リーダー)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者 (NEAL リーダー) を養成する。

○ 実施期間

令和2年2月19日 (水) 日帰り

○ 対象者・参加者数 (人数/定員)

自然体験活動を指導する意思のある18歳以上の方 (8名/20名)

○ 活動プログラム

9月27日 (木)

09:00 ガイダンス①(0.5h) 09:40 自然体験活動の指導(1.5h) 11:10 対象者理解(1.5h)

12:40 休憩

13:30 自然体験活動の特質(3.0h) 16:40 自然体験活動の技術(2.0h)

18:40 休憩

19:00 ガイダンス②(0.5h) 19:30 認定試験(0.5h)

2. 活動の様子

当初計画では10月12日から2泊3日での開催を予定していたが、台風19号の接近に伴い参加者の安全確保のため、別日程での延期開催とした。参加対象の多数を占める大学生の都合を考慮し、日程を一日に短縮し、高知市内に会場を設け実施することとした。なお、NEAL リーダーの規程カリキュラムのうち法人ボランティア養成事業にて単位数を読替え、日帰り開催とした。

NEAL 制度の仕組み、NEAL リーダーの役割を理解するガイダンスの後、「自然体験活動の指導」では指導者としての基本的な心構えについての講義を行った。

「対象者理解」では対象者理解の必要性和方法、各年齢期の特徴理解、対象者への配慮事項について講義があった。「自然体験活動の特質」では高知城内に活動の場を移し、ネイチャーゲームを織り交ぜながら地域の自然体験活動の特色を理解する内容を学んだ。「自然体験活動の技術」では様々な自然体験活動のプログラム紹介の他、プログラムにはそれぞれの狙いがあり、導入・展開・まとめの構成のなかで魅力的で楽しく感動を伝えられることが大事であることが提示された。講義・演習のまとめとして認定試験を行い、参加者8名全員が合格し、NEAL リーダーとしての資格認定を受けた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・今まで自分の中で気にかかっていたことが解消された。
- ・講義の内容が関心を引くものだった。
- ・少人数で集中でき中身の濃いものであった。
- ・これからの事業で実際に使える話や、リーダーの立ち位置が自分の中で明確になったため、参加して良かったと思いました。

○ 事業の成果

- ・少人数での開催となったが、参加者のこれまでの体験を重視し、各自の内容理解を深める組み立てを行ったことで、参加者から高い満足度を得られた。また法人ボランティアとしてのスキルアップ研修、フォローアップ研修の位置づけとしても実施することが出来た。

○ 事業の課題

- ・当初日程からの延期により、短縮開催となったことから、特に実技面での演習時間を十分に確保することができなかった。9.5時間の枠内での規定科目にて取り扱える演習・実技には限りがあることから、参加者のニーズを汲み取りながら、講義内容をさらに工夫することで対応したい。
- ・法人ボランティア養成カリキュラムとの抱き合わせにより講習開催が可能となるので、法人ボランティアへの資格取得を推奨する観点からも、今回の事例を参考とした実施形態を検討する余地がある。規程カリキュラムの18時間をフルタイムで行う形態の実施に加え、今回の実施形態での開催を月例リーダートレーニングに取り入れることを検討したい。法人ボランティアのスキルアップ研修として最適の内容であり、ボランティアの活動意欲向上につなげることが期待できる。